

# オンライン日本語学習サービスを展開

日本への留学や就業を希望する新興国の優秀な人材にとって、最大の壁は日本語の習得。反転授業を取り入れた革新的なオンライン日本語教育サービスで新興国のニーズに応える。

## 日本語教育サービスを始めたきっかけ

日本は人口減少が問題になっていますが、アメリカは人口が増えています。なぜアメリカに人が集まるかというと、外から来た人を受け入れる土壌とビジネスチャンスがあるから。日本の場合、ビジネスチャンスはあると思いますが、日本語が壁となっていて優秀な人が入ってこない現状があります。

日本に魅力を感じている海外の人はたくさんいます。会社員時代にインドに長期出張したとき、日本に留学したいと言う若者とたくさん会いました。しかし実際にインドから日本に来る留学生は昨年ようやく800人を超えた程度。アメリカには約10万人もいるのにです。日本にはナノテク・ロボティクス・iPS細胞など魅力的な学習分野があるのに留学生が少ない理由の一つは、日本語がハードルになっているからです。

通常、日本へ来た留学生は1〜2年かけて日本語学校に通い、それから大学・大学

院で学習を開始します。これでは優秀な人ほど日本語学習期間をロスタイムと感じてしまいます。結果、ロスタイムの少ない英語圏に人が流れてしまうのです。そこで、日本に来る前に、母国で日本語を勉強してもらい、卒業と同時に日本に来られるレベルになってもらおうと考えたのが本サービスを始めたきっかけです。私自身がテレビ会議システムの開発に携わったことがあり、その経験を生かしてオンライン学習の仕組みを考えました。

## 実際に始めてみて気付いた課題

いざ本格的に事業を開始しようという段階になり、立ちちはだかった壁が「現地で日本語を教えているサービスとの価格差」でした。どこの国にも、日本語を話せる人が開いている私塾のようなものが存在します。我々のサービスは日本人が講師なのでクオリティでは負けないのですが、金額で比べられてしまうと太刀打ちできません。そこで考えたのが、近年教育現場で注目を

集めている「反転授業」を取り入れることです。

反転授業とは、講義を受ける「教室」と宿題をやる「自宅」を逆にする。つまり生徒は自宅でアプリに組み込まれた収録動画を見ながら講義を受け、オンライン授業では他の学生や教師と会話を中心に行います。

このやり方ならば、充実した内容を維持したままライブ講義の時間を短縮することができます。結果コスト削減ができると考え、反転遠隔授業方式に基づく日本語教育プログラムの開発へ本格的に取り組み始めました。

## ものづくり補助金採択までの道のり

スマホを使った新しい教育プログラム開発の検討を始めていたときに、ものづくり補助金の情報を知りました。1次募集に申し込みましたが、その時は残念ながら採択されませんでした。2次募集は何として

も通らなくてはと思い計画全体を見直しました。大変でしたが頭の中を整理するのにかなり役に立ったと思います。実際に開発がスタートしてからは計画どおり順調に進み、完成した日本語教育プログラムを「Smart J Basic」と名付けてサービス開始することができました。

## 販売の現状と今後の展望

販売実績は正直なところまだまだこれからですが、フィリピン、インドとベトナムにパートナーがいて、販売を進めています。企業向けとしては正式採用が3件、トライアルで数件導入して頂いている状況です。導入されるケースとしては、日本と取引している海外企業が日本人とのコミュニケーションをとるための社員の社内研修としての利用や、日本での現地研修に先立って、渡航前に日本語学習に利用するなどのケースがあります。

今後の展望として主に考えているのは、フィリピン、インド、ベトナム、インドネ

シア、マレーシア、タイ、バングラデシュ、スリランカなどの新興国への販売です。欧米にも市場はありますが、今後の成長を見込んで東南アジア、南アジアを主なターゲットにしています。もともとの狙いは新興国の学校なので、大学や高校への導入実績を得ることが現在の目標です。



▲「日本語学習の壁を無くしたい」という思いが事業の原点

## 事業者名

リンクワールドジャパン株式会社（英文社名：LinkWorlds Japan Inc.）

## Company Profile 企業概要



▲完成した新サービス「Smart J Basic」の案内を持つ窪田 一郎社長

新興国を中心に諸外国の人々にオンライン日本語教育サービスを提供する事業を2013年1月に設立。ビジネスパーソンや学生を対象に、初心者から上級者まで幅広く対応するライブオンライン日本語教育サービス「JLink」を提供。スマートフォンでのeラーニングを取り入れて効率的・経済的に学習できる初心者向けサービス「Smart J Basic」や、ビジネスコミュニケーションスキルを習得するための上級者向けサービス「Smart J Pro」などを提供している。

代表者名 窪田 一郎  
設立年月日 2013年1月7日  
所在地 〒141-0022  
東京都品川区東五反田  
1-11-8 岩井ビル6F  
従業員数 4名  
資本金 3,150万円  
Tel. 03-6277-3608  
Fax. 03-6277-3608  
http://www.linkworlds.com/

## Examiner's Eye 調査員考察

外国人向けの日本語学習市場のニーズをつかみ、当社の持つノウハウで新サービス開発を行った事例。差別化は高いサービス品質だが、価格競争力の弱点を「反転教育」という時流を取り入れ克服した。海外市場への進出では現地パートナーを開拓・連携する等、自社製品開発を考える企業には大変参考になる事業戦略である。

## 事業テーマ

反転遠隔授業方式による、新興国向け日本語学習サービスの開発



▲初心者向け「Smart J Basic」と上級者向け「Smart J Pro」を開発（写真左上）／スマートフォンで場所を選ばずeラーニングができる（写真右）／講師との授業ではコミュニケーションしながら課題を解き応用力をつける（写真右下）